

81・3月

国字研ニュース

No. 4

国字問題研究会

発行人 委員長 内山 みち子
副委員長 見城 慶和

「常用漢字表案」の第二次検討結果の報告

● はじめに

わたしたち国字問題研究会では、一昨年三月三十一日に第十三期国語審議会が、中間答申として発表した「常用漢字表案」に示された漢字が、新たに追加された漢字もふくめて字数の増加だけでなく、そのなかには一般国民の使う漢字としてまったく不必要な字や、きわめて使用度の少ない字が多いので、その一字一字を検討して、その第一次検討結果を昨年六月に発表するとともに、このように問題点の多い「常用漢字表案」は廃案とするよう、国語審議会をはじめ各方面に訴えてきました。

第一次検討では、六か月にわたる検討のなかで「常用漢字表案」の漢字一九二六字を、**(A)**

重要度も高く、必要な漢字、**(B)** **(A)**に準ずる漢字で、今後二次、三次の検討を要する流動的な漢字、**(C)** **(I)**まったく不必要な漢字、**(T)**地名や身体部位の漢字等で、特別使用漢字として残す漢字の四つの基準に分け、**(A)**漢字八一一字、**(B)**漢字七一九字、**(C)**漢字二四二二字、**(T)**漢字一五四字に分類、各分類ごとの漢字の字種も発表しました。

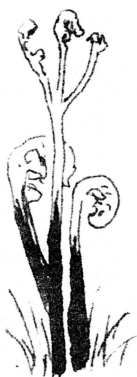
わたしたちは、その後**(B)**、**(T)**に分類した漢字の第二次検討を昨年後半から始め、数か月にわたる検討の結果、新たに**(B)**から**(A)**、あるいは**(T)**に移したものの、不必要な漢字として**(B)**から**(C)**に移したものの、**(T)**から**(A)**あるいは**(C)**に移したもののなど、**(B)**、**(T)**分類の漢字の整理をおこないました。

第二次検討にあたっては、第一次検討と同じように参加会員の一致した意見にもとづくものだけを他の分類に移す方法をとりました。また、使用度や使用範囲が特定のものでも、適当な書きかえ、いいかえが見あたらないものについては**(T)**分類に残し、第三次検討の対象としたものもあります。

第十四期国語審議会の任期切れも間近となり伝えられるところによれば、三月中にも「常用漢字表案」の中間答申にあたって削除された漢字についても全面復活をはかり、漢字字数が中間答申よりさらに増加したものを正式答申とするよう、国語審議会にたいして各方面からの働きかけがおこなわれているといわれます。

このような時期なので、わたしたちはここに第二次検討結果を発表し、広く国民のみなさんとともに、国民のための、国民による漢字問題の研究と、問題の多い「常用漢字表案」は廃案とする運動を強めていきたいと考えています。

(文責 高柳)



次ページの表は第二次検討結果の分類です。

合 計	T	C	B	A	分類 行
106	6	24	0	76	ア 行
500	20	216	0	264	カ 行
554	29	202	0	323	サ 行
255	14	93	0	148	タ 行
28	2	5	0	21	ナ 行
265	9	111	0	145	ハ 行
56	1	17	0	38	マ 行
59	1	20	0	38	ヤ 行
96	0	37	0	59	ラ 行
7	2	2	0	3	ワ 行
1,926	84	727	0	1,115	計

国字研「常用漢字表案」総点検結果

① 漢字表

ア 行

哀愛惡握圧扱安案暗以衣位圀医依
委異移意違遺維域育一引印因員院
飲右羽雨運雲永泳英映栄営影銳衛
易益液駅越円炎延沿宴援園煙遠鉛
塩演縁汚王央応往奥横屋億卸恩音
温 76 字

カ 行

下化火加可仮何花価果河科夏家荷
貨過歌課我画芽賀介回灰会快改怪
海界皆械絵開階解外害街概各角拡
革格核覚確獲学楽額活割滑株干刊
甘完官卷看患寒換間勸幹感漢管関
監館環簡覬鑑丸岸岩眼顔願企危気

サ 行

希奇季記起帰基奇規喜期貴旗器機
技偽義疑戲議客逆九久旧休吸求究
急級救球給牛去挙許魚御漁共狂京
協況恐胸強教郷境橋鏡競響業曲局
極均近金菌勤筋禁銀区句苦具空偶
君訓軍群兄形系係計経敬景輕警芸
劇欠血決結月犬件見券建研健險検
絹権験元言限原現減源戸古呼固故
個庫雇五互午後語誤護口工公広交
光向好考行孝抗攻効幸厚香候校航
降高康黄港項鉞構稿興講号合告谷
刈国黒獄骨今根婚混 264 字
左查砂差座才再災妻採济祭細最裁
債催歳際在材財罪作昨策咲札刷殺

察雜三山參產散算酸贊殘士子支止
 氏仕史司四市死糸至志私使刺始姉
 枝姿思指施師紙視詞齒試詩資誌示
 字寺次耳自似兇事治持時辭式識七
 失室執濕質実写社事舍者射捨斜謝
 借釈若弱手主守取狩首酒種趣受授
 需収周宗拾秋修終習週就衆集十充
 住柔重從縱祝宿縮熟出述術春旬純
 順準処初所書署暑諸女助序除少
 床招松消症称唱商涉章勝焼証象傷
 照障賞上条状乗城常情場色食植飾
 織職心申身侵信神振真針深進森診
 寝新審親人凶水垂数世正生成西声
 制性青政星省清盛晴勢誠精製静請
 整税夕石赤析席責跡績績籍切折接
 設雪節説絶千川先宣専泉浅洗染船
 戰錢潜線選鮮全前善然祖素組疎訴
 礎早争走相莊草送倉巢窓創装僧想
 層総造像増蔵足則息速側測俗族属

続卒率存村係尊損 323字

夕行

他多打太対体耐待退帶貸隊態大代
 台第題宅沢達脱担単炭淡短端団男
 段断暖談地池知値運置竹畜築茶着
 中虫抽注昼柱著貯兆町長帳張彫頂
 鳥朝超潮調聴直沈賃追通痛低弟定
 底抵帝庭停提程的笛適敵鉄天典店
 点展添転田伝殿電徒途都渡塗土努
 度怒刀冬灯当投豆東到逃倒凍島討
 党盜湯登答等筒統稲頭闘同動堂童
 道働銅導特得徳毒独読突届鈍 148字

ナ行

内南難二肉日入乳任忍認熱年念粘
 燃悩納能腦農 21字

ハ行

波派破馬拝背俳配排敗廃壳倍買白
 拍泊迫博薄爆箱畑八発拔罰反半犯
 伴判板版班般販飯範晩番盤比皮否

批彼肥非飛疲秘被悲費避尾美備必

筆百氷表票評標秒病品浜貧不夫父
 付布扶府負浮婦富普武部舞封風服
 副復福腹複払仏物粉分文聞平兵併
 並閉米別片辺返変編弁便勉歩保補
 母募墓暮薄方包宝放法訪報豐亡坊
 忘防望貿暴北木牧本盆 145字

マ行

魔每妹枚埋幕末万満未味魅密脈妙
 民眠務無夢霧名命明迷盟鳴滅免面
 綿模毛盲目黙門問 38字

ヤ行

夜野役約訳薬由油輪唯友有勇遊雄
 誘融優与予余預幼用洋要容葉陽溶
 腰様踊養謡曜浴欲 38字

ラ行

来雷頼落乱卵覧利里理裏離陸立律
 略流留粒旅了両良料量領寮療力緑
 林輪臨涙類令礼冷励例零靈齡曆歷

列劣裂恋連練路老郎浪勞六錄論

|| 59 字

— 7 行 —

和話惑 || 3 字

② 漢字表

|| 0 字

③ 漢字表

— 7 行 —

威為尉偉慰逸芋姻陰隱詠疫悅謁沿
閱援猿凹押欧桜毆憶乙穩 || 26 字

— 力 行 —

佳架菓渦嫁暇禍靴寡箇稼蚊雅餓戒
拐悔塊壞懷貝効涯慨該垣殼郭較隔
穫掛渴括喝渴褐轄刈汗缶冠陷乾勘
貫喚堪敢棺款閑寬慣歡緩憾還艦含
頑机岐汽祈紀軌既飢鬼幾揮棋棄輝
騎宜欺儀擬犧菊吉喫詰却脚虐及弓
丘朽泣糾窮巨居拒挾虛距凶叫享供
挾狹恭脅矯驚仰曉凝玉斤緊謹襟吟

驅愚遇隅屈掘繰勲薰契惠啓揭溪螢

傾携繼慶憩鷄迎鯨擊激穴傑潔肩儉

兼劍軒圈堅嫌獻遣賢謙繭頸懸幻玄

弦嚴己孤弧枯誇鼓顧吳娛悟孔功巧

甲后坑更拘貢恒洪紅荒郊耕肯控慌

硬絞溝綱醇衡購拷剛豪克穀酷込困

昆恨紺魂壘懇 || 216 字

— 7 行 —

佐唆詐碎宰栽彩齋菜載劑崎削索酢
搾錯冊撮擦皿棧蚤慘傘暫矢旨伺肢
嗣飼賜諮侍滋慈璽軸疾漆芝赦煮遮
邪蛇尺酌寂朱殊珠儒樹舟秀臭愁酬
醜襲汁洩疏猷叔淑肅塾俊瞬巡盾淮
殉循潤遵庶緒如叙升召匠肖尚承昇
宵祥笑紹掌焦硝粧詔獎詳彰衝償礁
鐘丈冗淨剩蒸繩壤壤錠讓釀殖触囑
辱伸辛唇娠浸紳慎刃仁尽迅甚陣尋
炊粹衰推遂睡穗随枢崇据杉寸瀨是
井牲征齐姓逝婿誓斥昔隻惜拙窃摂

仙占扇栓旋踐遷薦纖禪漸繕阻租措
粗塑双壯搜挿桑掃曹遭槽操燥霜騷
藻憎贈即束促賊 || 202 字

— 夕 行 —

妥墮惰馱怠泰袋逮替滯淹扞卓拓託
濯諾濁奪棚丹探嘆誕鍛彈壇恥致痴
稚逐蓄秩室嫡仲忠衷鏄挑眺釣跳徵
澄懲勅珍陳鎮墜塚漬坪呈廷邸亭貞
訂逋偵艇泥摘滴迭徹撤斗吐唐桃透
悼搭棟痘踏糖膳騰洞胴峠匿督篤凸
屯豚曇 || 93 字

— 7 行 —

軟尼妊寧濃 || 5 字

— 八 行 —

把霸杯輩梅培陪媒賠伯舶麦漠縛肌
鉢髮伐閔帆畔搬煩頒繁藩蠻妃披卑
扉碑罷微匹姬佞漂苗描猫賓頻敏瓶
怖附赴符腐敷膚賦譜侮伏幅覆沸紛
雰噴墳憤奮丙柄陞屏幣弊壁癖偏遍

捕舖慕芳奉抱泡俸倣砲崩飽褒縫乏
忙妨房肪冒某剖傍帽棒膨謀朴僕墨
撲沒堀奔翻凡 11字

マ行

麻摩磨又抹慢慢岬矛娘銘茂妄耗猛
網紋 17字

ヤ行

厄躍愉諭癒幽悠猶裕憂營羊庸揚搖
窯擁抑翌翼 20字

ラ行

裸羅絡酪濫欄吏痢履柳竜隆疏虜慮
涼獬陵僚糧厘倫隣累罌戾鈴麗烈廉
鍊炉露朗廊樓漏 37字

ワ行

賄粹 2字

㊤ 漢字表

ア行

亜胃維壹韻宇 6字

カ行

華閣岳肝忌宮峽琴郡刑徑莖型梟憲
湖碁江皇綱 20字

サ行

鎖祉脂紫雌磁寿囚州徐抄沼昭將訟
晶疊臣津震吹醉髓聖舌奏喪葬臍

29字

タ行

胎胆冲宙駐丁弔庁腸堤締哲陶塔

14字

ナ行

式尿 2字

ハ行

肺坂鼻泌浦邦胞峰紡 9字

マ行

膜 1字

ヤ行

郵 1字

ラ行

0字

ワ行

湾腕 2字



国字研のあゆみ

(前号からのつづき)

80・7・8

常用漢字表第二次検討 出席全員

80・9・9

「国字改良」として気になる点」

ところ ろすう

80・10・14

「なぜ日本語には同音語が多いか」

見城 慶和

80・11・18

常用漢字表検討

出席全員

80・12・2

常用漢字表検討

出席全員

81・1・13

「常用漢字表を最終答申されぬよう要望する」という要望書を国審

・文化庁・文部大臣ほかに発送

81・2・10

常用漢字表検討

出席全員

81・2・24

常用漢字表検討

出席全員

81・3・3

常用漢字表最終検討

出席全員

81・3・10

国字研ニュース4号編集 出席全員

常用漢字表検討に

ほとんど毎回参加した会員

内山みち子（本会委員長・日本コトバの会副委員長・人名地名を考える会代表・カナモジ会員）

見城慶和（本会副委員長・児童言語研究会会員

・荒川区立第九中学校教諭）

高柳正次（本会副会長・用字用語研究家・光陽

印刷常勤相談役）

ところ ろすう（本会正会員・幼児教育教育

家）

菊池哲（本会正会員・会社員）

杉村正一郎（本会正会員・話そう会会長）

大久保忠利（本会研究参与・日本コトバの会委

員長・元都立大学教授）

大倉孔一（本会研究参与・日本コトバの会研究

部長・児童言語研究会中央委員・横浜市立ろ

う学校教諭）

キヨハラクニタケ（本会正会員・カナモジカイ

運営委員・技術コンサルタント・群馬大講師）

あとがき

常用漢字表検討のために意外に日数がかかりまして、本号の発行が予定よりだいぶ遅れました。次号は7月ごろの予定。

（内山）

国字研へ

人会のおすすぬ

日本の国語・国字政策は、戦後の「当用漢字」「現代かなづかい」制定のころからみると、大きく後退しつつあります。このようなときにあたり、真に国民の国字はどうあるべきかを真剣に考えたいと思います。

国字は、表現と理解の面で、社会生活上、教育上、能率的で文化水準を高める方向へと発展させるべきです。

国字問題に関心のあるかた、これから研究してみたいかた、ご研究の発表を望まれるかたなど、多く

のかたがたのご参加をねがっております。

（一年分会費二〇〇〇円。）